



山形県教員採用試験HP  山形県教員採用X 

## 本日の内容

- 1 山形県の教育
- 2 研修体制
- 3 職場環境
- 4 待遇
- 5 試験の変更点
- 6 試験の概要と令和6年度実施の試験結果
- 7 よくある質問

最後に質疑応答の時間があります。  
遠慮なくお聞きください

山形県DC推進監  
きてけるくん 

## 1 山形県の教育

- 目指す教育
- 目指す教師像
- 特色ある教育



## 学校、児童・生徒、教員

校種	学校数	児童・生徒数	教員数
小学校	222	45,607	3,793
中学校	95	25,252	2,161
義務教育学校	3	1,157	115
特別支援学校	19	1,211	801
高等学校	45	16,082	1,777
計	384	89,309	8,647

令和6年5月1日現在(国立・公立)

学校には、国立を含む。教員には、養護教諭、栄養教諭、講師等を含む。



1 山形県の教育

山形県の教師として働くことよさ

- ・ 児童や生徒との授業が楽しい!
- ・ 保護者の方々や地域が協力的!
- ・ 自然、文化、歴史 …… 教材があちこちに転がっている
- ・ 働き方改革、推進中!
- ・ 若手を守りながら、育てます!
- ・ (小・中・特)給食がおいしい!
- ・ 余暇も充実!

1 山形県の教育

山形県の目指す教育

第7次山形県教育振興計画 (骨子案より)

【基本目標】

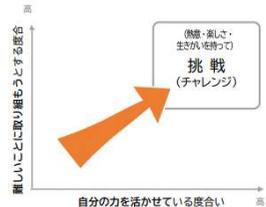
「ウェルビーイングを目指し、多様性あふれる持続可能な社会の実現を担う山形の人づくり」

【県民の皆様へのメッセージ】

- チャレンジ1 「体験」 ワクワク無限大
- チャレンジ2 「探究」 「なんで?」を大切に
- チャレンジ3 「尊重」 みんなが主役で応援団
- チャレンジ4 「協働」 みんな笑顔で

<ウェルビーイングを目指すためには>

・個人の幸せだけでなく、社会が幸せを感じられるよう、県民皆が自分の力を活かしながら、前向きに取り組んでいることが重要  
→「挑戦」していることが重要



1 山形県の教育

特色ある教育

○教育やまがた「さんさん」プラン

少人数学級のメリットを生かしたきめ細やかな指導の充実により、個の能力を最大限に伸ばし、「わかる授業」「いじめや不登校のない楽しい学校」を目指す

- ・ 小学校 18人～33人の少人数学級編制を実施
- ・ 中学校 21人～33人の少人数学級編制を実施
- ・ 小中の特別支援学級 6人以下の少人数学級編制を実施

資質・能力の育成

1 山形県の教育

4. 本事業の具体について

(1) 大卒新採教員等が教科担任(兼)学級副担任となる場合

大卒新採教員等が教科担任(兼)学級副担任となる学校には、教員が1人多く配置されます。

【教科担任(兼)学級副担任の学校生活(例)】

【これまでの学級担任の学校生活(例)】

(2) 大卒新採教員等が学級担任となる場合

大卒新採教員等が学級担任となる学校には、新採教員支援員が1人配置されます。

【新採教員支援員が配置された場合の学校生活(例)】

【教科担任(兼)学級副担任の学校生活(例)】

【これまでの学級担任の学校生活(例)】

【新採教員支援員が配置された場合の学校生活(例)】

【教科担任(兼)学級副担任の学校生活(例)】

【これまでの学級担任の学校生活(例)】

「新採教員育成・支援事業リーフレット」より



1 山形県の教育

### (1)教科担任(兼)学級副担任 の場合



(週持ち授業時数 17時間) 1日の流れ(水曜日の例)

月	火	水	木	金
1	空 6の1	空 6の2	理 6の1	理 5の1
2	理 5の1	理 6の1	理 5の1	初任研 6の2
3	理 5の2	初任研 6の2	理 5の3	初任研 6の1
4	理 5の2	初任研 6の2	理 5の3	空
5	外 5の3	理 6の2	空	外 5の3
6	空	理 5の2	空	空

1日の流れ(水曜日の例)

出勤	1校時 空	2校時 理科 5の1	中 休 み	3校時 理科 5の3	4校時 理科 5の3	給 食	星 休 み	清 掃	5校時 空	6校時 理科 5の2	帰 りの 会	放課後	退 勤
----	----------	------------------	-------------	------------------	------------------	--------	-------------	--------	----------	------------------	--------------	-----	--------

◆教科担任として、週17コマ程度、複数の学級で特定の教科の授業を行う。

◆学級副担任として、先輩教員のそばで学級経営や保護者対応等を学ぶ。

1 山形県の教育

### (2)学級担任+新採教員支援員 の場合



(週持ち授業時数 17時間) 1日の流れ(水曜日の例)

月	火	水	木	金
1	国 5の1	国 6の1	空	算 5の1
2	空	道 5の1	国 6の1	算 初任研 6の2
3	算 5の2	初任研 6の2	算 5の3	空 初任研 6の1
4	空	初任研 6の2	空	空 国
5	体 5の3	空	特 活	体 空
6	総 合	体 5の2	空	総 合

1日の流れ(水曜日の例)

出勤	1校時 空	2校時 国語	中 休 み	3校時 算	4校時 空	給 食	星 休 み	清 掃	5校時 特 活	6校時 体 育	帰 りの 会	放課後	退 勤
----	----------	-----------	-------------	----------	----------	--------	-------------	--------	---------------	---------------	--------------	-----	--------

◆学級担任として週14~17コマ程度、授業を受け持つ。

◆新採教員支援員は大卒新採教員等の学級の授業を週5~8コマ程度受け持つ。その時間は空き時間となる。

1 山形県の教育

## 2 研修体制

- キャリアアップ
- 初任者研修
- チーム「あなた」



### キャリアアップ

~教員ライフとキャリアステージ~



2 研修体制



**3 職場環境**

- 働き方改革
- 新採教員育成・支援

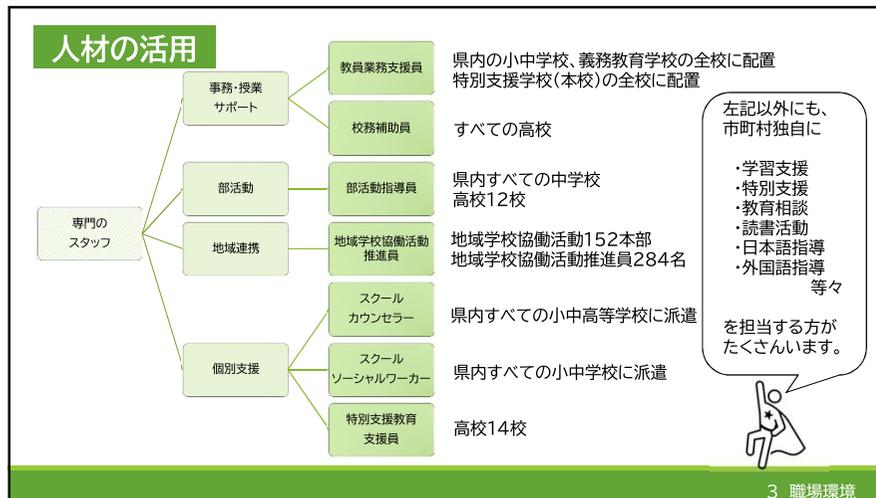
**学校の働き方改革**

R5年度 月平均の時間外在校等時間

小学校	中学校	特別支援学校	高等学校
34時間21分	42時間20分	21時間45分	38時間35分
①教材研究・授業準備 ②校務分掌 ③その他	①校務分掌 ②教材研究・授業準備 ③部活動	①教材研究・授業準備 ②校務分掌 ③その他	①校務分掌 ②部活動 ③教材研究・授業準備

3 職場環境

- 学校の働き方改革**
- 人材の確保及び外部人材の活用
    - ・ 教員業務支援員(スクール・サポート・スタッフ)
    - ・ 校務補助員
    - ・ 部活動指導員
    - ・ スクールカウンセラー
    - ・ SSW(スクールソーシャルワーカー) など
  - ICTの有効活用
    - ・ 校務支援システム
    - ・ デジタル採点
    - ・ 保護者等への連絡 など
  - 教員の事務負担軽減
  - 勤務時間に対する意識の啓発 など
- 3 職場環境



### 部活動ガイドライン

山形県における部活動の在り方に関する方針(抜粋)  
(運動部:平成30年12月、文化部:令和元年7月策定)

休養日	平日1日以上、土曜日及び日曜日(週休日)1日以上
活動時間	平日2時間程度、週休日等3時間程度
長期休業中の休養日	ある程度長期の休養期間を設ける (連続した休養日の設定)

3 職場環境



### 給与・手当

□初任給		大学卒	大学院卒
	山形県の行政職	229,100円	238,100円
	山形県の <b>教育職=教諭</b> (R6:参考)	<b>263,016円</b> (R6:235,352円)	<b>280,696円</b> (R6:256,568円)

○教育職は教職調整額を含む。  
○山形県内の大学卒初任給平均は¥220,100(令和5年度賃金構造基本統計調査 厚生労働省より)  
○初任給は職歴、経験年数を加算

□手当

- ・期末勤手当 … 4.60ヶ月分(令和6年度実績)を、6月と12月に分けて支給
- ・住居手当 例)一ヶ月の家賃が¥50,000のアパートを借りた場合¥23,500
- ・扶養手当 … 扶養する「子」等がいる場合に支給
- ・通勤手当 … 通勤距離、通勤方法に応じて支給 他にも様々あります

4 待遇

**休暇等**

□勤務時間 ・週あたり 38時間45分(1日あたり7時間45分)  
 ・休日は、土曜日・日曜日、祝日、年末年始

□休暇・休業(主なもの)

休暇名	日数	備考
年次有給休暇	20日	翌年への繰り越しあり
夏季休暇	6日	7~9月に取得
リフレッシュ休暇	5日	満30、40、50歳
私傷病休暇	90日	生活習慣病休暇への引き継ぎあり
生活習慣病休暇	180日	がん等を含む生活習慣病や精神性疾患
忌引休暇	10日	1~10日の範囲
骨髄移植休暇	必要な期間	
災害休暇	必要な期間	非常災害発生時
婚姻休暇	7日	新婚旅行等で取得する方が多い

4 待遇



- R8採用(令和7年度実施)における変更点**
1. 大学3年次特別選考の対象を**全校種、教科・科目へ拡大**
  2. 大学推薦における**出願可能教科の拡大**
  3. 東京会場における**受験可能校種、教科・科目の拡大**
  4. 元職特別選考、現職特別選考における**出願要件の緩和**
  5. 加点制度の拡大  
 (大学推薦への**加点**・司書教諭資格取得見込への**加点**)
  6. スポーツ特別選考の**出願要件緩和**
- 5 試験の変更点

- 変更点**
1. 大学3年次特別選考Aの対象を**全校種、教科・科目へ拡大**
- 【変更前】**
- ・対象校種: 小学校教諭、特別支援学校小学部教諭 を対象とする。
  - ・併願及び加点申請を可とする。
- ↓
- 【変更後】**
- ・対象校種: **全校種、教科・科目**において出願を可とする。
  - ・大学3年次特別選考A出願時には、**校種、教科・科目の選択は行わない。**
  - ・併願及び加点申請は**大学4年次に出願する際に申請することとする。**
- 5 試験の変更点

### 選考区分と試験項目 (全校種、教科・科目で受験可)

3年出願時は、校種、教科科目を選択しない

通過者について、次年度一次試験の「教職教養・一般教養」免除 加点あり

<b>3年次</b> 一次試験	大学3年次 特別選考A	合格	<b>4年次</b> 一次試験	一般 選考	大学3年次 特別選考B	大学推薦 特別選考	合格	<b>4年次</b> 二次試験	全員 共通
教職教養 一般教養	○		教職教養 一般教養	○	免除	免除		作文	○
教科・科目	-		教科・科目	○	○	○		個人面接1	○

不合格

<b>4年次</b> 一次試験	一般 選考	大学推薦 特別選考	合格
教職教養 一般教養	○	免除	
教科・科目	○	○	

個人面接2	○
適性検査	○
実技試験	○

5 試験の変更点

### 変更点

#### 2. 大学推薦特別選考における出願可能教科・科目の拡大

**【変更前】**  
・大学推薦特別選考実施要項で指定された校種、教科・科目で出願可能 (各校種、教科・科目ごと5名)

**【変更後】**  
・中学校における出願可能教科を全教科に拡大する。  
・高等学校における出願可能教科・科目を拡大する。  
(教科・科目については実施要項で確認)

5 試験の変更点

### 変更点

#### 3. 東京会場(一次試験)における対象校種、教科・科目の拡大

**【変更前】**  
会場: 明治学院  
対象校種  
①小学校  
②特支小学部  
実施選考区分  
・一般選考  
・大学推薦特別選考

**【変更後】**  
会場: 東京都内の大学  
対象校種  
①小学校 ②特支小学部  
③中学校(国語・理科)  
④特支中学部(国語・理科)  
⑤高等学校(教科・科目は実施要項で確認)  
実施選考区分  
・一般選考  
・大学推薦特別選考

5 試験の変更点

### 変更点

#### 4. 元職教員特別選考・現職教員特別選考における出願要件の緩和

**【変更前】**  
・「志願する校種・教科・科目又は養護教諭・栄養教諭の職」での経験が必要

**【変更後】**  
・小学校または中学校での勤務経験者(3年以上)は、該当教員免許があれば、小学校または中学校への出願を可とする。  
・中学校または高等学校での勤務経験者(3年以上)は、中高を問わず同一教科での出願を可とする。

5 試験の変更点

**変更点**

**5. 加点制度の拡大**

(1) 司書教諭資格に関すること

**【変更前】**  
 ・司書教諭の資格を有する者(取得する見込みは不可)

↓

**【変更後】**  
 ・司書教諭の**取得見込者も加点対象**とする。  
 (令和8年3月31日までに司書教諭講習修了証書取得見込の者を対象)

5 試験の変更点

**変更点** 5. 加点制度の**拡大** (2) 大学推薦に係る加点こと

3年出願時は、校種、教科科目を選択しない

<b>3年次 一次試験</b>	大学3年次 特別選考A	<b>合格</b>	<b>4年次 一次試験</b>	一般 選考	大学3年次 特別選考B	<b>大学推薦 特別選考</b>	
	教職教養 一般教養	○		教職教養 一般教養	○	免除	免除
	教科・科目	-		教科・科目	○	○	○

↓

不合格

<b>4年次 一次試験</b>	一般 選考	大学推薦 特別選考	
	教職教養 一般教養	○	免除
	教科・科目	○	○

「3特A合格者」  
+  
「大学推薦出願者」  
↓  
加点

5 試験の変更点

**変更点**

**6. スポーツ特別選考の出願要件の緩和**

**【変更後】**  
 ・次の(ア)～(イ)のいずれかに該当する者

(ア) 高等学校卒業後、国際大会(オリンピック、世界選手権、アジア大会等)に日本代表で出場した者

(イ) 高等学校卒業後、全国大会(日本選手権大会や国民スポーツ大会、全日本学生選手権大会等の、予選大会を経て行われる大会)において、3位以上の成績を収めた者

(ウ) 上記(ア)または(イ)の者をその大会の出場に際して直接指導した実績を有する者

(エ) 全国高等学校総合体育大会等で3位以上の成績を収めた者をその大会の出場に際して直接指導した実績を有する者

5 試験の変更点

6 試験の概要  
・  
試験結果等



**選考を行った校種等、教科・科目と採用見込数** ※R6実施のもの

校種等	教科・科目	合格者数
小学校教諭 (小学校英語を含む)		177名
中学校教諭	国語、社会、数学、理科、音楽、美術、保健体育、技術、家庭、英語	86名
特別支援 学校	小学部教諭	28名
	中学部教諭	
高等学校	教諭	36名
	助教諭	
養護教諭		12名
栄養教諭		1名

6 試験の概要・結果

**受験者数・合格者数等** ※R6実施のもの

校種等	教科・科目	採用見込数	受験者数	一次合格者数	二次合格者数
小学校<3特A含む> (小学校英語)		約180名	259 (8)	255 (8)	177 (5)
中学校	国語	約85名	21	19	15
	社会		53	22	11
	数学		38	21	15
	理科		17	15	10
	音楽		11	3	2
	美術		12	4	2
	保健体育		47	23	16
	技術		5	4	2
	家庭		2	2	2
	英語		24	15	11
特別支援学校	小学部<3特A含む>	約30名	17	17	12
	中学部		22	22	21
養護教諭		約10名	78	20	12
栄養教諭		若干名	16	4	1

6 試験の概要・結果

**受験者数・合格者数等** ※R6実施のもの

校種等	教科・科目	採用見込数	受験者数	一次合格者数	二次合格者数
高等学校	国語	約35名 (スポーツ特別選考は外数)	11	5	3
	世界史・日本史		16	6	3
	数学		23	9	5
	物理		11	5	2
	化学		6	5	3
	地学		1	1	1
	保健体育		43	7	3
	英語		13	8	5
	家庭		2	2	1
	情報		3	2	1
	農業		3	3	1
	機械		4	3	2
	電気		3	3	1
	建築		2	2	1
	土木		1	1	0
	工業化学		3	3	1
	商業		5	4	3

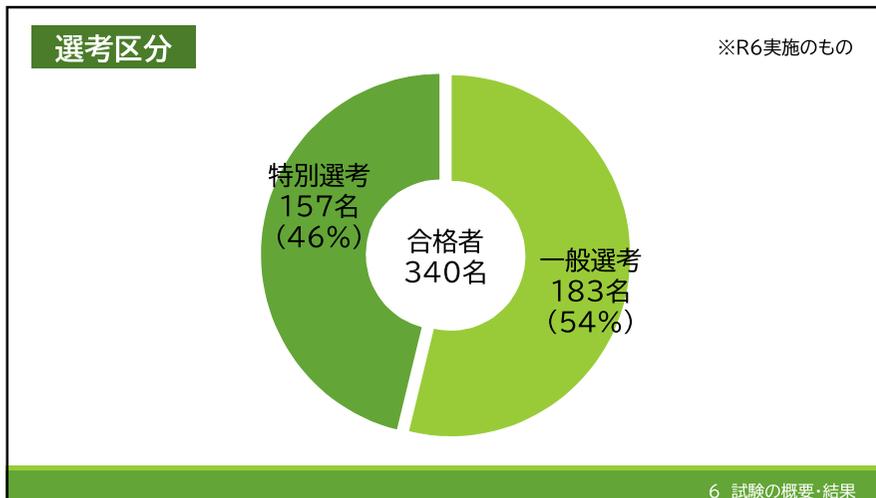
6 試験の概要・結果

**選考区分** ※合格者数はR6実施のもの

区分	志願資格	合格者数	
一般選考	特別選考の志願資格の方以外はこちら	183	
特別選考	講師等	本県の講師等(非常勤も含む)を、 <b>通算13ヶ月以上</b>	42
	元職教員Ⅰ・Ⅱ	本県又は他県等で正規採用として3年以上継続して勤務	13
	現職教員Ⅰ・Ⅱ	<b>現在</b> 、本県以外において正規採用として、 <b>3年以上継続</b> ※ <b>3年目</b> の方も可	25
	大学推薦	校種等、教科・科目で、大学より5名(規定による)	51
	3特A	大学3年次等で、令和8年3月31日までに卒業見込みの者	61
	社会人	教科・科目と関連する実務経験を、 <b>5年以上継続</b> (英語、工業、情報、看護)	0
	前年度二次Bランク	前年度一次合格、二次不合格でBランクの方	26
	障がい者	障がいのある方	0
	スポーツ	国際大会出場、全国3位以上の指導実績 ※高校の保健体育のみ	0

※ 元職・現職Ⅰ(高校以外)、元職・現職Ⅱ(高校)

6 試験の概要・結果



### 大学推薦特別選考

※校種・教科はR6実施のもの

○対象となる校種・教科等と人数

校種	教科等	人数
小学校		各5名へ (R6実施から)
小学校英語		
中学校	国語、理科、技術、家庭、英語	
特別支援学校	小学部	
	中学部	国語、社会、数学、理科、音楽、美術、保健体育、技術、家庭、英語
高等学校	物理、化学、地学、家庭、情報、農業、機械、電気、建築、土木、工業化学、商業	

○推薦要件など(一部抜粋)

- 山形県が第一志望
- 採用延期できない
- 小と特支、中と高などの併願はできない
- 「優」または「A」以上が60%以上が望ましい

○試験項目

- 一次試験の「教職教養・一般教養」免除

6 試験の概要・結果

### 試験項目・内容

※R6実施のもの

試験	試験項目	時間	具体的内容
一次試験	教職教養・一般教養	70分	教育法規、教育心理等の教職教養 と 一般教養 ※マークテスト形式
	小論文	70分	指定されたテーマについて、1000字以内で論述
	教科・科目	90分	出願した教科・科目の内容 (実技がある教科・科目では、70分で実施)
	実技試験	-	一部の校種等、教科・科目のみ
二次試験	個人面接1・2	-	面接官数名と受験者との面接 「場面指導等」を含む
	作文	50分	指定されたテーマについて、800字以内で作文
	実技試験	-	小学校と特別支援学校小学部 英語と音楽の選択

校種等、教科・科目、選考区分によって、試験内容は異なります。

6 試験の概要・結果

### 選考区分と試験項目

※R6実施のもの

□一次試験

試験項目	一般選考	特別選考						現職・元職 I 前年度一次
		現職・元職 II 大学推薦	講師等 社会人	3特A (3年次)	3特B (4年次)	スポーツ	障がい者	
教職教養・一般教養	○	免除	-	○	免除	免除	○	免除
小論文	-	-	○	-	-	○	-	
教科・科目	○	○	○	-	○	免除	○	
実技試験	○	○	○	-	○	免除	○	
面接	-	-	-	-	-	○	-	

6 試験の概要・結果

**選考区分と試験項目** ※R6実施のもの

□二次試験

	小学校・特支小学部		その他の校種等
	現職Ⅰ・元職Ⅰ	その他	
作文	○	○	○
個人面接1	○	○	○
個人面接2	○	○	○
適性検査	○	○	○
実技試験	<b>免除</b>	○	—

6 試験の概要・結果

**実技試験のある校種等** ※R6実施のもの

校種等、教科・科目		試験内容	
一次	中学校	音楽	・新曲視唱、新曲視奏、ピアノ演奏、歌唱指揮 ・随意曲選択演奏(歌唱または器楽)
		美術	・水彩画
	中学校 高等学校	保健体育	・次の領域から2領域選択 陸上競技、器械運動、球技(バレーボール、バスケットボール、サッカーのうち1種目)、武道(柔道、剣道のうち1種目)、ダンス
	中学校	技術	・木材加工、回路の製作
	中学校 高等学校	家庭	・調理、裁縫
		英語	・英語による面接
養護教諭		・場面对応	
二次	小学校 特支小学部	音楽(伴奏譜によるピアノ演奏)か 英語(英語による簡単な自己紹介と日常会話)のいずれかを選択	

6 試験の概要・結果

**小学校の実技(英語・二次試験)** ※R6実施のもの

- 英語による自己紹介
- 日常会話

(例) 英語で答えられますか？

- What sport do you like to play?
- What do you like to talk about with your friends?
- Where do you often go on weekends?

(県HPに掲載の出題例より抜粋)

6 試験の概要・結果

**作文(二次試験)のテーマ** ※R6実施のもの

- 心身ともに健康な児童生徒を育むために
- 児童生徒が安心してすごせる学校づくりのために
- 児童生徒が他者と豊かに学び合うために
- 児童生徒が自らの可能性に気付くために
- 児童生徒が学ぶ楽しさを知るために
- 児童生徒の自己肯定感を高めるために

過去3年分の問題等は、山形県庁1階「行政情報センター」で閲覧・複写できます  
電子申請による請求もできます  
詳しくは→<https://www.pref.yamagata.jp/documents/31285/kakomon-get.pdf>

6 試験の概要・結果

### 一次試験の配点 ※R6実施のもの

		教職教養・一般教養	教科・科目	実技試験
小学校、特支小学部		100点	150点	－
中学校 特支中学部	実技あり	100点	100点	50点
	実技なし	100点	150点	－
高等学校 特支高等部	実技あり	100点	200点	100点
	実技なし	100点	300点	－
	スポーツ特選	小論文120点、面接280点		
養護教諭		100点	100点	50点
栄養教諭		100点	150点	－

加点制度を利用した方は、**高校は40点**、**それ以外は30点**を上限に加点されます

6 試験の概要・結果

### 二次試験の配点 ※R6実施のもの

	個人面接1	個人面接2	作文	実技試験
小学校、特支小学部	210点	140点	50点	50点
中学校、特支中学部 高等学校 養護教諭 栄養教諭	210点	140点	50点	－

### あなたの配点

一次試験(            )点 : 二次試験(            )点

6 試験の概要・結果

### 加点制度 ※R6実施のもの

加点要件	小	中	特小	特中	高
① 「数学」、「理科」、「音楽」、「保健体育」及び「英語」の免許状	10				
② 受験教科以外の中学校の免許状		10			
③ 受験教科以外に「情報」の免許状			10	10	30
④ 受験教科以外に「福祉」の免許状				10	10
⑤ 「世・日」の受験者で、「公民」の免許状					5
⑥ 受験教科以外で「数学」または「理科」の免許状			10	10	
⑦ 特支5領域すべての免許状			10	10	
⑧ 「視覚」、「聴覚」から1+「知的」「肢体」「病弱」から2			5	5	
⑨ 特支の免許状	10	10			10
⑩ 英検2級、TOEFL iBT 65点、TOEIC 600点	10		10		
⑪ 「英語」受験者で英検準1級、TOEFL iBT 80点、TOEIC 730点		10		10	10
⑫ 司書教諭の資格を持っている(見込での加点はしない)	5	5	5	5	5

加点申請者 = **163名**

6 試験の概要・結果

### 併願制度

次の組合せ①～③において、一方の校種を第一志望、他方の校種を第二志望として出願できます。

組み合わせ①  
「小学校」と「特別支援学校小学部」

小学校と特別支援学校の両方の免許状が必要

組み合わせ②  
「中学校」と「特別支援学校中学部」

中学校と特別支援学校の両方の免許状が必要

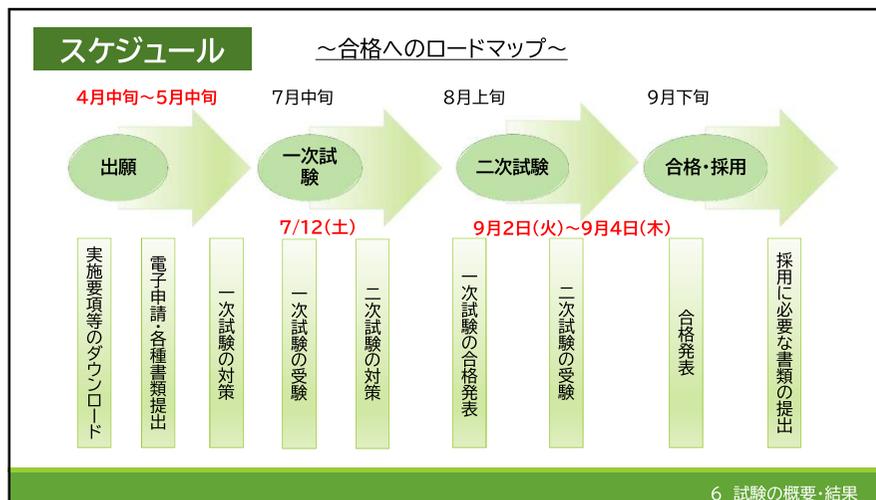
組み合わせ③  
「中学校」と「高等学校」(R6は、国・家・英のみ)

中学校と高等学校の両方の免許状が必要

・ポイント①  
「小」と「特支小」の**教科・科目**の問題は**同じ**  
「中」と「特支中」の**教科・科目**の問題は**同じ**  
「中」と「高」の**教科・科目**の問題は**同じ** ※R6は、国・家・英のみ

・ポイント②  
第一志望を特支小中、第二志望を小中で併願する方は、**第二志望で必ず加点申請**できます

6 試験の概要・結果



### 必要な手続き

- ① 「実施要項」「エントリーシート」をダウンロードする  
※実施要項公表(予定)：令和7年4月中旬
- ② 「電子申請」で必要事項を入力する  
※電子申請期間(予定)：令和7年4月中旬～5月中旬  
※エントリーシートも電子データを電子申請システムに登録

(該当者のみ)

- ③ 「加点申請書」等をダウンロードし、作成する  
※加点申請書、特別選考関係書類は郵送(簡易書留)で提出

6 試験の概要・結果

### 必要な手続き

詳細は山形県HPをこまめにチェック！

ホームページの確認が抜け落ちそうで心配……

教員採用X

山形県HP  
(教員採用)

県HPの更新  
↓  
Xで  
必ずポストします！

6 試験の概要・結果

### 一次試験

令和7年度実施予定日：令和7年7月12日(土)

- ① 会場
  - 山形中央高校 (各校種等の「保健体育」、養護教諭)を予定
  - 山形北高校 (各校種等の「音楽」)を予定
  - 山形工業高校 (上記以外)
  - 東京会場(未定) (出願可能な校種教科科目は検討中)
- ② 日程
  - 午前  
「教職教養・一般教養(小論文)」 → 「教科・科目」
  - 午後  
「実技」 ※実技のない方は午前で終了

6 試験の概要・結果

二次試験

令和7年度実施予定日

令和7年9月2日(火)～9月4日(木)

① 会場

□山形県教育センター

② 日程(令和6年度実施の二次試験日程)

□3日間のうち、指定された半日

□「個人面接1・2」\*「作文」「適性検査」 \*場面指導等を含む

□小学校と特支小学部の「実技」は、別の日に実施

小・特小の場合	8月27日(火)	8月28日(水)	8月29日(木)
パターンA	作文・面接・適性 (半日)	実技	-
パターンB	-	実技	作文・面接・適性 (半日)

6 試験の概要・結果

7 よくある質問



豚肉・味噌味



牛肉・しょう油味(かくし味に味噌)



牛肉・しょう油味



牛肉・しょう油味

採用延期制度

□ 合格後、期日までに**採用延期願**を提出すれば、合格の権利をもったままで大学院へ進学、または大学院での修学を継続できる

□ 大学院在学中に、**合格した校種等の専修免許状を取得**すること

□ 以下の条件(どちらか)にあてはまっていればよい

<条件>

1. 教職大学院、専修免許状の取得可能な大学院または修士号取得可能な海外の大学院に進学予定の合格者 → 2年延期
2. 大学院修士課程\*1年次に在学中の合格者 → 1年延期

※ 延期期間終了までに専修免許状が取得できない → 採用無効

7 よくある質問

出願についてのQ&A

Q: 小学校の実技試験は、**音楽と英語**のどちらを選択した方が有利ですか？

A: どちらを選択しても、有利不利はありません。  
自分の力をより発揮できる方を選択してください。

Q: 出願時に選択した実技試験(校種等)を、**後から変更**することはできますか？

A: できません。出願前によく検討して選択してください。

Q: **出願後**に英語資格の結果が届く場合は、加点申請を行うことはできますか？

A: できません。出願時点で英語資格の証明書の写しの提出が必要です。

Q: 司書教諭講習の単位を年度内に取り終える予定です。加点申請を行うことはできますか？

A: **できます**。取得見込証明書を大学から作成していただき提出する必要があります。

7 よくある質問

出願についてのQ&A

- Q: 大学の通信課程で特別支援学校教諭の免許状を取得しようとしています。大学からは「**免許状取得見込証明書は出せない**」と言われましたが、加点申請はできますか？  
 A: (残念ですが) **できません**。
- Q: 小学校の免許を所有しており、現在、大学の通信課程で特別支援学校教諭の免許状を取得しようとしています。**特支学校小学部を志願**することはできますか？  
 A: **できます**。ただし、合格後、**免許状が取得できない場合は採用できません**ので御注意下さい。
- Q: 前年度「小学校」で受験し、二次で不合格となりました。今年度は「**前年度二次Bランク特選**」で受験しようと考えていますが、「特支小学部」を**併願**することはできますか？  
 A: (残念ですが) **できません**。前年度特選は、**前年度と同じ校種を受験する場合に限り有効**です。

7 よくある質問

出願についてのQ&A

- Q: 大学3年次特別選考Aで不合格となり、4年次に一般受験する場合、**合否に影響**はありますか？(大学3年次特別選考不合格が不利になることはある？)  
 A: 大学3年次特別選考の不合格が、4年次の受験で不利になることはありません。
- Q: R7採用において3特Aで小学校に出願し合格しましたが、その後校種の希望が変わり、**中学校への出願を希望した場合、R8採用で3特Bで出願**できますか。また、「**教職教養・一般教養の免除**」は有効ですか？  
 A: この場合は、4年次に一般選考や大学推薦特別選考で中学校を受験していただくことになります。3特Bとして中学校を受験し「**教職教養・一般教養の免除**」を受けることはできません。
- Q: R8採用において、小学校での出願を希望して3特Aで出願しました。その後**中学校への出願を希望した場合、R9採用で「教職教養・一般教養の免除」は有効**ですか？  
 A: **有効**です。R8採用より3年次特別選考Aの出願校種、教科・科目の制限はなくなりました。よって、R9採用の4年次に希望する校種、教科・科目へ出願できます。

7 よくある質問

HPは、更新されますのでチェックを！

「山形県」→「資格・試験・採用」→「山形県公立学校教員の採用について」

いつでも、何でも**相談**してください！！

山形県教育局教職員課(県庁13階)

教員採用試験担当(働き方改革推進)	023-630-3406
小学校・中学校・特別支援学校	023-630-2864
高等学校	023-630-2863

臨時教員(講師等)は常に募集中！！

365日**常に募集**しており、**随時任用**(採用)しています  
**登録票(履歴書)**を提出した方と相談して、任用する学校が決まります  
 フルタイムから数時間、一年間から年間数日と様々な任用があります

「仮登録」始めました！

「登録票」を作成して登録する前に、少しでも不安を解消できればと仮登録の申請ができるようになりました。詳細はHPからどうぞ！ <https://www.pref.yamagata.jp/700026/bunkyo/kyoiku/karitouroku.html>

最後にお知らせです

